



チョコレートの完成を報告する学生ら＝浜松市役所

浜松市中区の静岡文化芸術大でフェアトレード推進のためチョコレート商品を開発する「はままつチョコプロジェクト」に取り組む学生らが12日、市役所に長田繁喜副市長を訪ね、2018年の活動開始から4年目で初めて商品が完成したことを見報告した。同大4年の青山友香さん(21)と吉永朱観さん(22)らが、完成した商品「ピナショコラ」

について説明した。ハーフミツ味とお茶味の2種類で、浜松産の落花生やハチミツ、微粉末茶を使った。フェアトレードとは発展途上国の产品を適正価格で購入し、労働者を守る運動。学生はフィリピンのカカオ豆を輸入して裏芋を手作りし、包装デザインや商品販売も手掛ける。試食した長田副市長は「製品作りの工程を全て行う貴重な体験。

副市長にチョコ完成報告

静岡文化
芸術大生

フェアトレード推進へ

な時期もあったが、完結して努力が報われた」と振り返った。商品は17日に同大生協で販売するほか、28日正午ごろに市役所1階でも販売する予定。税込み800円。
(浜松総局・日比野都斐)

